

# Qiitaに公開記事としてBricksのGetting startedを書く

## FL Bricksという電子書籍を簡単に配信できるサービスを使ってみよう！

技術書典に近いですね！

紙の本と同時に電子書籍も配信できるFL Bricksというサービスの使い方をまとめました。

### FL Bricksとは

<https://www.bricks.pub>

FL Bricksは独自の出版サービスを展開したい出版者向けのマイクロサービスシリーズです。

機能単位で利用できるため、柔軟に独自の出版サービスを構築出来ます。

FL Bricksはクローズドベータ提供中で現在は問い合わせからしかユーザー登録ができません。

### FLB ROOT

FLB ROOTは、出版コンテンツを管理・制御するサービスです。

登録した出版コンテンツの書籍ファイル・書誌情報を誰がどのように使用するかを管理・制御します。

このサービスで電子書籍の管理や自分のアプリの登録をします。

### FLB BinB

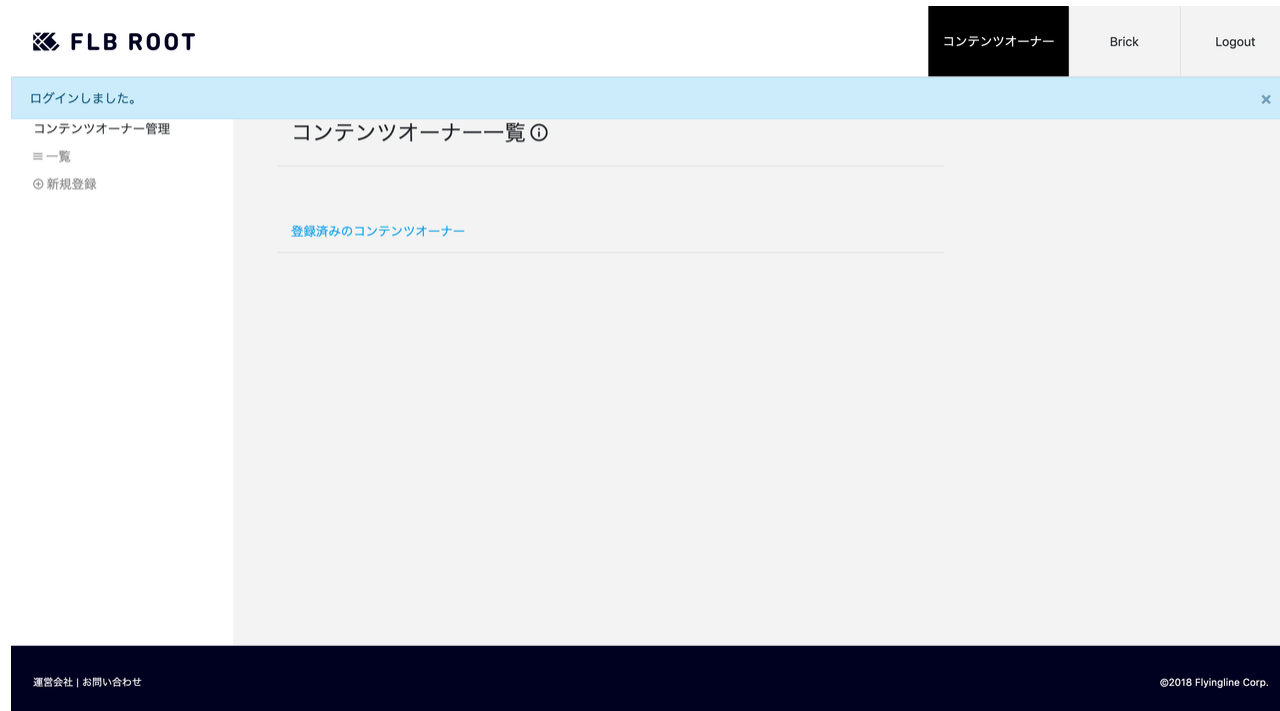
FLB BinBは、出版コンテンツをWEBブラウザ上で閲覧可能にするサービスです。

FLB ROOTで使用許可されたPDF / ePub 形式の出版コンテンツをコンバートし、BinB ビューワーで閲覧可能にします。

FLB BinBを使うとFLB ROOTに登録された電子書籍を配信できます。

BinBはいろんなサイトでの実績がある電子書籍ビューワーです。

# FLB ROOTにログインしてみる



ログインしました。

コンソールでは主にコンテンツオーナーとBrickの管理ができます。

## コンテンツオーナー

コンテンツオーナーとは、コンテンツを所有し管理する組織や個人です。例えば、○○出版、○○出版××編集部 等

## Brick

Brickとは、FL Bricksを使って構築されたサービスやアプリケーションです。これを登録するとAPIキー等開発に必要な情報が取得できます。

## サンプルアプリを作ってみよう

技術書典向けに書いた本をTwitterやその他SNSから読めるようなサイトを想定してサンプルを作ってみます。

## 作業の流れ

サンプルアプリを作るにあたって全体の流れを確認しておきます。

1. Brick登録
2. コンテンツ登録
  - a. コンテンツオーナーを登録する
  - b. コンテンツの利用権限を設定する
  - c. APIを使ってコンテンツを登録する
  - d. APIを使ってファイルをアップロードする
  - e. APIを使って画像をアップロードする
3. コンテンツ閲覧
  - a. FLB BinBにログインする
  - b. Brick情報を登録する
  - c. APIを使ってコンテンツを読むためのリンクを生成する
  - d. 読めました

## 1. Brick登録

Brick管理

≡ 一覧

⊕ 新規登録

## Brick登録

## Basic Information

Name \*

shwldの電子書籍配信サイト

## API

Allow origins

## OpenID Connect

Redirect URI \*

http://localhost

URIごとに1行で入力してください

Scopes

- ☒ openid  
☐ profile  
☐ email

登録

Redirect URIにはひとまず<http://localhost> を指定しておきます。

Brickが作成されました。

✕

Brick管理

shwldの電子書籍配信サイト

✱ 詳細

✎ 編集

ユーザー管理

≡ 一覧

Webhook管理

≡ 一覧

⊕ 新規登録

≡ 一覧

⊕ 新規登録

## Brick詳細

## Basic Information

Name  
shwldの電子書籍配信サイト

## API

Api key

[REDACTED]

Allow origins

http://localhost

## OpenID Connect

ID

[REDACTED]

Secret

[REDACTED]

Redirect URI

http://localhost

Scopes

openid

## Brick Integrations

Confirmation token

[REDACTED]

編集

APIキーなどの情報を取得できました。

## 2. コンテンツ登録

コンテンツオーナーを登録する

FLB ROOT

コンテンツオーナー

Brick

Logout

コンテンツオーナー管理  
≡ 一覧  
🕒 新規登録

コンテンツオーナー登録

Name

shwid@技術書典は落ちました

登録

運営会社 | お問い合わせ

©2018 Flyingline Corp.

## コンテンツの利用権限を設定する

FLB ROOT

コンテンツオーナー

Brick

Logout

FLB BinBにコンテンツの利用を許可しました

コンテンツオーナー管理  
shwid@技術書典は落ちました  
🔧 詳細  
ユーザー管理  
≡ 一覧  
利用権限管理  
≡ 一覧

利用権限一覧

コンテンツ利用を許可したBrick

FLB BinB

shwidの電子書籍配信サイト

Brick

YONDEMILL

shwid@技術書典は落ちましたが所有するコンテンツの利用を許可したいBrickを選択してください

許可

運営会社 | お問い合わせ

©2018 Flyingline Corp.

先程作ったBrickとFLB BinBに対してこのコンテンツオーナーが持っているコンテンツ  
を使えるように許可を与えます。

## APIを使ってコンテンツを登録する

以下の登録APIを使って登録します。

<https://console.root.bricks.pub/docs/api/v1#owners-contents-create>

```
curl --location --request POST "https://api.root.bricks.pub/v1/owners/{あなたのコンテンツオーナーのID}/contents" \
  --header "Content-Type: application/json" \
  --header "X-API-KEY: {BrickのAPIキー}" \
  --header "Authorization: Bearer {Access token}" \
  --data "{
    \"title\": \"FL Bricksという電子書籍を簡単に配信できるサービスを使ってみよう!\",
    \"description\": \"FL Bricksという電子書籍を簡単に配信できるサービスを使ってみよう!\",
    \"authors\": [
      {
        \"name\": \"@shwld\",
        \"role\": \"著\"
      }
    ],
    \"image\": {
      \"filename\": \"cover.jpg\"
    },
    \"file\": {
      \"filename\": \"flb.pdf\",
      \"layout_type\": \"pre_paginated\",
      \"trial_range\": \"-5\"
    }
  }"
```

事前にイメージ画像とPDFファイルを用意しておくことをオススメします。

レスポンス：

```
{
```

```
"data": {
  "id": "xxxxxxxxxxxxxxxxxx",
  "title": "FL Bricksという電子書籍を簡単に配信できるサービスを使ってみよう！",
  "description": "FL Bricksという電子書籍を簡単に配信できるサービスを使ってみよう！",
  "owner_id": "{あなたのコンテンツオーナーのID}",
  "authors": [
    {
      "name": "@shwld",
      "role": "著"
    }
  ],
  "file": {
    "upload_url": "https://s3.ap-northeast-1.amazonaws.com/root.bricks.pub/content_files/eafd96f6-0c97-432a-a677-16dc306004ed/1d9338b0-dbd6-4944-8791-c8cfb5a8fda6.pdf?x-amz-acl=private&X-Amz-Algorithm=AWS4-HMAC-SHA256&X-Amz-Credential=AKIAJLLXFHCUMKSFOTJA%2F20190327%2Fap-northeast-1%2Fs3%2Faws4_request&X-Amz-Date=20190327T005943Z&X-Amz-Expires=900&X-Amz-SignedHeaders=host&X-Amz-Signature=22214dd5895bd06cb70df338c1fcbcd63c954643a7c99c4fb9550964b69d6ff6",
    "layout_type": "pre_paginated",
    "trial_range": "-5",
    "size": null,
    "uploaded_stamp": null
  },
  "image": {
    "upload_url": "https://s3.ap-northeast-1.amazonaws.com/root.bricks.pub/content_images/eafd96f6-0c97-432a-a677-16dc306004ed/7a0c6027-50d5-49fe-8133-3d1dbf2f92cf/default.jpeg?x-amz-acl=public-read&X-Amz-Algorithm=AWS4-HMAC-SHA256&X-Amz-Credential=AKIAJLLXFHCUMKSFOTJA%2F20190327%2Fap-northeast-1%2Fs3%2Faws4_request&X-Amz-Date=20190327T005943Z&X-Amz-Expires=900&X-Amz-SignedHeaders=host&X-Amz-Signature=22214dd5895bd06cb70df338c1fcbcd63c954643a7c99c4fb9550964b69d6ff6"
```



```

3%2Faws4_request&X-Amz-Date=20190327T005943Z&X-Amz-Expires=900
&X-Amz-SignedHeaders=host&X-Amz-Signature=dfe2e8de69df68d1049e
578ebb43b0072bfa53c51a704d7372c37770aaf275b6",
        "size": null,
        "uploaded_stamp": null
    }
}
}

```

レスポンスが返ってきたら、fileとimageのupload\_urlにそれぞれファイルをアップロードします。

### APIを使ってファイルをアップロードする

```

curl --location --request PUT "https://s3.ap-northeast-1.amazo
naws.com/root.bricks.pub/content_files/eafd96f6-0c97-432a-a677
-16dc306004ed/1d9338b0-dbd6-4944-8791-c8cfb5a8fda6.pdf?x-amz-a
cl=private&X-Amz-Algorithm=AWS4-HMAC-SHA256&X-Amz-Credential=A
KIAJLLXFHCUMKSFOTJA%2F20190327%2Fap-northeast-1%2Fs3%2Faws4_re
quest&X-Amz-Date=20190327T005943Z&X-Amz-Expires=900&X-Amz-Sign
edHeaders=host&X-Amz-Signature=22214dd5895bd06cb70df338c1fcbcd
63c954643a7c99c4fb9550964b69d6ff6" \
    --data-binary "@assets/book.pdf" -v

```

### APIを使って画像をアップロードする

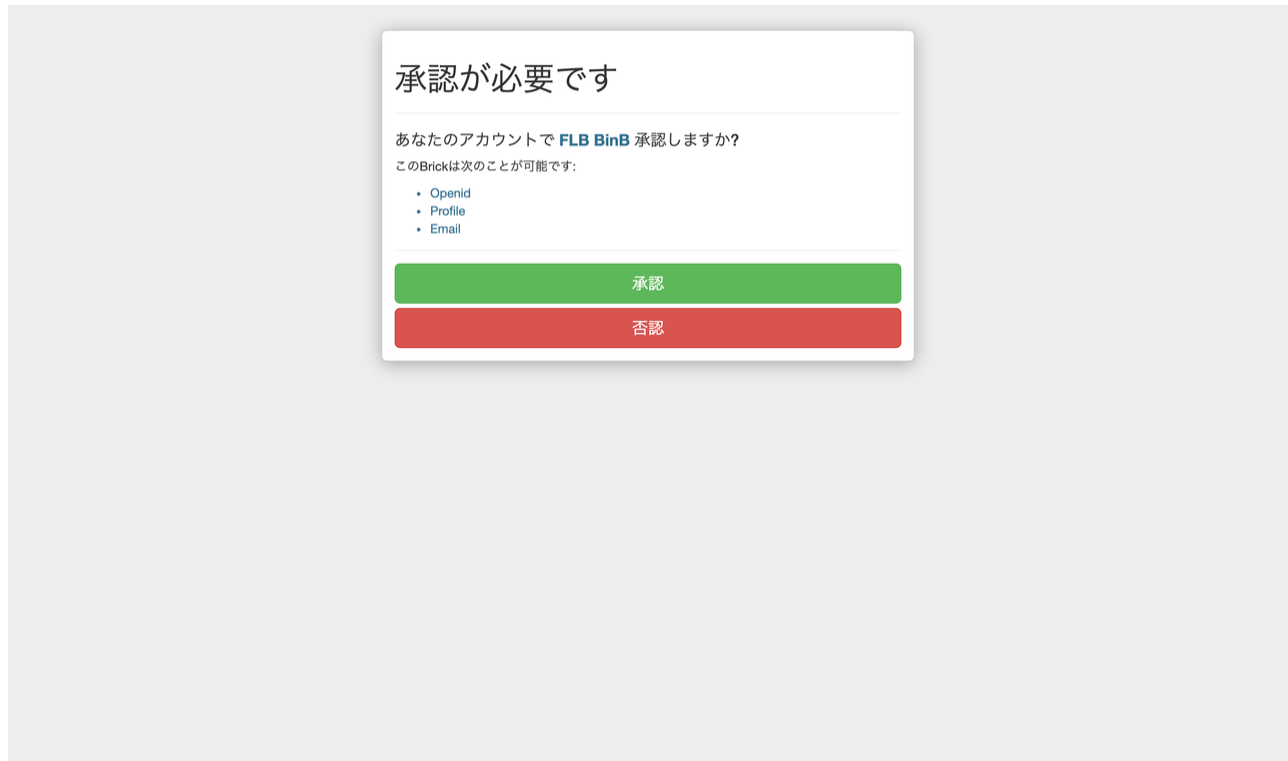
```

curl --location --request PUT "https://s3.ap-northeast-1.amazo
naws.com/root.bricks.pub/content_images/eafd96f6-0c97-432a-a67
7-16dc306004ed/7a0c6027-50d5-49fe-8133-3d1dbf2f92cf/default.jp
eg?x-amz-acl=public-read&X-Amz-Algorithm=AWS4-HMAC-SHA256&X-Am
z-Credential=AKIAJLLXFHCUMKSFOTJA%2F20190327%2Fap-northeast-1%
2Fs3%2Faws4_request&X-Amz-Date=20190327T005943Z&X-Amz-Expires=
900&X-Amz-SignedHeaders=host&X-Amz-Signature=dfe2e8de69df68d10
49e578ebb43b0072bfa53c51a704d7372c37770aaf275b6" \
    --data-binary "@assets/cover.jpg" -v

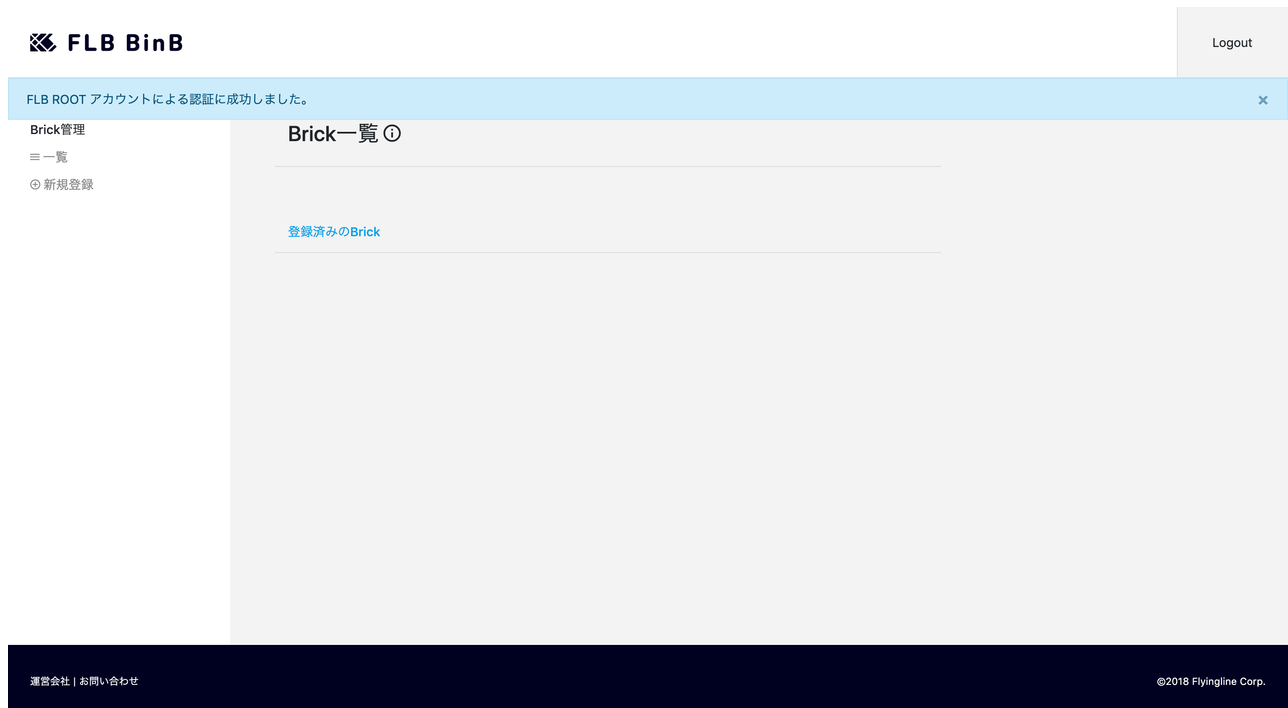
```

## 3. コンテンツ閲覧

## FLB BinBにログインする



FLB ROOTのアカウントをFLB BinBで使うように許可します。



ログインできました。

# Brick情報を登録する

Brick管理

≡ 一覧

⊕ 新規登録

## Brick登録

Brick

shwldの電子書籍配信サイト

FLB ROOTに登録されているBrickです

Name

shwldの電子書籍配信テスト


Description

shwldの電子書籍配信テスト

Allow origins

http://localhost

登録



Logout

Brick was successfully created.

Brick管理

shwidの電子書籍配信テスト

詳細

編集

≡ 一覧

🕒 新規登録

Brick詳細

Basic Information

Name

shwidの電子書籍配信テスト

Description

shwidの電子書籍配信テスト

API

Api key

Allow origins

http://localhost

編集

運営会社 | お問い合わせ

©2018 Flyingline Corp.

APIキーなどの情報を取得できました。

## APIを使ってコンテンツを読むためのリンクを生成する

```
curl --location --request POST "https://api.binb.bricks.pub/v1/contents/tokens" \
  --header "X-API-KEY: {APIキー}" \
  --header "Content-Type: application/json" \
  --header "X-CONFIRMATION-TOKEN: {Confirmationトークン}" \
  --data "{
    \"content_id\": \"{Content ID}\",
    \"exit_url\": \"{ビューワーを閉じたときに遷移するURL}\",
    \"continuation_url\": \"{最後のページまで読んだあとに遷移するURL}\"
  }"
```

APIの実行に以下の情報が必要です。

- Content ID
  - 先程API経由で登録したコンテンツのID
- APIキー


- FLB BinBコンソールのBrick詳細画面で確認します
- Confirmationトークン
  - FLB ROOTコンソールのBrick詳細画面で確認します

※ コンテンツが読めない場合APIを使ってコンテンツの状態を確認することができます


<https://console.binb.bricks.pub/docs/api/v1#contents-show>

```
curl --location --request GET "https://api.binb.bricks.pub/v1/contents/{Content ID}" \  
  --header "X-API-KEY: {APIキー}" \  
  --header "X-CONFIRMATION-TOKEN: {Confirmationトークン}"
```

## 読めました



FL Bricksという電子書籍を簡単に配信できるサービスを使ってみよう！



### Qiitaに公開記事としてBricksのGetting startedを書く

FL Bricksという電子書籍を簡単に配信できるサービスを使ってみよう！

技術書典が近いですね！

紙の本と同時に電子書籍も配信できるFL Bricksというサービスの使い方をまとめました。

**FL Bricksとは**  
<https://www.bricks.pub>  
FL Bricksはクローズドベータ提供中で現在は問い合わせからしかユーザー登録ができません。

FL Bricksは独自の出版サービスを展開したい出版者向けのマイクロサービスシリーズです。  
機能単位で利用できるため、柔軟に独自の出版サービスを構築出来ます。

**FLB ROOT**  
FLB ROOTは、出版コンテンツを管理・制御するサービスです。  
登録した出版コンテンツの書籍ファイル・書誌情報を誰がどのように使用するかを管理・制御します。  
このサービスで電子書籍の管理や自分のアプリの登録をします。

**FLB BinB**  
FLB BinBは、出版コンテンツをWEBブラウザ上で閲覧可能にするサービスです。  
FLB ROOTで使用許可されたPDF / ePub 形式の出版コンテンツをコンバートし、BinB ビューワーで閲覧可能にします。  
FLB BinBを使うとFLB ROOTに登録された電子書籍を配信できます。  
[BinB](#)はいろんなサイトでの実績がある電子書籍ビューワーです。

1/10

今回は読むためのリンクを生成するAPIを使って書籍ビューワーを表示するサイトを作ってみました↓

<https://fl-bricks.shwld.now.sh/>

今回作ったサービスのコードはこちらです。

<https://github.com/shwld/fl-bricks-sample>